

令和8年度 年次事業評価書（評価対象年度:令和7年度）施設名:にしん子育て総合支援センター

概要	施設所在地・所管課		日進市栄4丁目1002-2	所管課:子育て支援課
	設置目的		安心して子どもを産み、ゆとりをもって健やかに育てていける環境づくりを目的として、市民の子育て支援への関心を高めるとともに、子育て環境の向上、子育ての援助及び子育てに関する市民活動の育成を推進するため	
	指定期間・選定方法		令和4年4月1日～令和9年3月31日	選定方法:公募
	指定管理者	所在地	日進市香久山1丁目601番地chipin香久山203	
		団体名・代表者	NPO法人ファミリーステーションRin 代表理事 牛田 由美子	

	令和6年度	令和7年度	前年度比
指定管理料(市委託料)	36,622千円	36,662千円	100.1%
利用料金収入	0千円	0千円	-
施設利用者数	23,107人	23,630人	102.3%

分類	評価項目	評価基準		評価点 (5～1点)	
共通 評価 事項	1 法令等遵守	法令、条例、業務仕様書等に基づき、必要な施設の維持管理、点検、報告等が適切に行われている。		4	点
	2 清掃業務	業務仕様書に基づき、清掃業務・維持管理が、適切に行われている。		4	点
	3 保安警備業務	業務仕様書に基づき、保安・警備業務が、適切に行われている。		4	点
	4 業務の委託	第三者への委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切に行われている。		4	点
	5 業務記録	業務日誌及び点検、修繕等の履歴を適切に整備し、保管している。		4	点
	6 職員の配置	必要な資格、経験を有するものなど、事業計画書に即し、人員を過不足無く配置している。また、従業員の労働条件、賃金水準が、適正に確保されている。		4	点
	7 職員研修	施設の設置目的達成のために必要な研修・教育が、適切に行われている。		4	点
	8 個人情報保護	利用者の個人情報を保護するための対策適切に講じられている。		4	点
	9 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保され、また、マニュアルが整備されている。		4	点
	10 施設利用の状況	利用者数や施設の稼働率は、前年度の実績等に比べて適切、妥当な水準にある。		4	点
	11 利用促進業務	施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動が適切に行われ、その効果が認められる。		4	点
	12 利用者支援業務	施設利用者が円滑に活動できるように、必要な指導・助言が適切に行われている。		5	点
	13 モニタリング	利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組が適切に行われている。また、事業報告書等による市への報告・説明が、適切に行われている。		4	点
	14 自主事業	施設の目的に沿った自主事業が、適切に行われている。		4	点
	15 収支の状況	利用料収入は、前年度の実績等に比べて適切、妥当な水準にある。		4	点
	16 予算執行	施設の事業収支は、適切な手続きに沿って執行されている。		4	点
共通 評価 事項	特記事項	標準点(4点)を上回る評価をした項目と理由	【12 利用者支援業務】 相談支援について、新規相談対応件数(342件→355件)、母子保健型との連携・情報共有(27件→53件)、他の事業や関連機関との連携、紹介等(172件→203件)が前年度比で増加しており、相談窓口の周知や丁寧な対応により相談しやすい環境づくりが進んだ結果と考えられる。支援が必要な家庭を適切に各事業へつなぐことができ、身近な相談窓口としての実効性が高まっているため、高評価とした。		
		標準点(4点)を下回る評価をした項目と理由			
		その他特記事項	子育て総合支援センターとして利用者が前年度比で増加(23,107人→23,630人)しており、地域の子育て家庭の交流及び相談の拠点としての役割が一層高まった。また、SNS等を活用した情報発信の充実により事業周知を強化するとともに、各種申込みの電子化を進め、利用者の手続負担の軽減及び利便性向上を図るなど、利用しやすい支援環境の整備を進めた。		
		(施設所管課)改善に向けた助言等の内容	各種講座やイベントについて、利用者アンケート等によりニーズを把握しながら内容の充実を図るとともに、母親・父親を問わず関心をもちやすいテーマ設定や家族で参加できる体験型講座等、多様な家庭が参加しやすい事業展開を検討されたい。また、講座参加をきっかけとして保護者同士の交流や継続的な利用につながるよう、利用促進の視点を持った取組及び新規利用者の獲得につながる魅力ある企画の創出に努められたい。		

個別評価事項 (設置目的に応じた内容)	1 相談・支援業務	施設の設置目的を踏まえ、相談業務の体制の整備と実施及び必要な支援に取り組んでいる。		4	点
	2 情報の受発信	市民自治活動に関する情報の収集や発信に努めている。		4	点
	3 地域との連携	地域や関係団体等との連携や協働の推進に努めている。		5	点
	4 人材育成等	市民自治活動を担う人材育成に取り組んでいる。		4	点
	特記事項	標準点(4点)を上回る評価をした項目と理由	【3 地域との連携】 地域企業、子育てサークル及び学生等と連携した多様な取組を展開し、地域資源を活用した子育て支援の充実が図られている。企業との協力による事業実施、子育てサークルとの連携による保護者交流の促進、学生との交流による世代間の関わりや創出など、地域全体で子育て家庭を見守り支える環境づくりに寄与しているため。		
		標準点(4点)を下回る評価をした項目と理由			
		その他特記事項	なし		
		(施設所管課)改善に向けた助言等の内容	地域企業、子育てサークル及び学生等との連携による取組は評価できるため、今後はより継続的かつ発展的な協力体制となるよう連携内容の充実を図られたい。特に、各主体の特色を生かした体験型事業や世代間交流事業など、利用者の参加意欲を高める企画へつなげるとともに、新たな地域資源の掘り起こしや地域イベント等との運動にも努め、地域全体で子育て家庭を支える支援の輪をさらに広げられたい。		
総評	課題点に対する取組状況 ※昨年度指摘した課題は解消されたか。	昨年度、情報周知の手法を幅広く検討されたいとした助言に対し、本年度はSNS等による情報発信の強化や申込ツールの電子化など、利用者の利便性を意識した取組が進められた。多様な周知媒体の活用により利用者へ情報が届きやすい環境づくりをすることができた。			合計 82 点
	一年間の総評 ※点数では表すことができない、指定管理者の管理運営業務における創意工夫や改善等を幅広く記載する。	令和7年度は、子育て支援センターの利用者数の増加に加え、ファミリー・サポート・センターにおいても会員数が増加しており、地域における子育て支援拠点機能及び相互援助活動の充実がうかがえる。また、SNS等を活用した情報発信の強化、申込手続の電子化による利便性向上、地域企業・子育てサークル・学生等との連携による事業展開など、多方面において取組の前進が認められた。			総合判定 A

判定基準	5点…期待する水準を大幅に満たし、優良な管理を行っている。
	4点【標準点】…期待する水準を満たし、良好な管理を行っている。
	3点…基本協定書等の内容は遵守されているが、これを上回る部分がなく課題の解消が必要な部分がある。
	2点…基本協定書等の内容を一部下回るものがあり、改善に対する課題がある。
	1点…管理運営が適切に行われたとは認められず、抜本的な改善を要する。

総合評価基準	S【優良】合計85点以上…期待する水準を大幅に満たし、優良な管理を行っている。
	A【良好】合計70点～84点…期待する水準を満たし、良好な管理を行っている。
	B【適正】合計60点～69点…一部に課題の解消が必要な部分があるが、概ね妥当である。
	C【改善】合計50点～59点…期待する水準を満たす状況になく、改善が必要である。
	D【抜本的改善】合計49点以下…期待する水準を大幅に満たしておらず、抜本的な改善が必要である。